



令和7年度 永年勤続表彰	2
令和7年度 大分医療センター・大分東医師会 合同臨床研究会	4
リレー・フォー・ライフジャパン 大分2025に参加して	5
健康フェア2025	6
診療科紹介 呼吸器内科	7
婦人科	8
連携医療機関のご紹介 うるる女性クリニック	9
消防訓練	10
人事異動	11
外来診察医担当表	12



タデ原湿原（大分県玖珠郡九重町）（撮影：管理課長）

令和 7 年度 永年勤続表彰



30年表彰

永年勤続表彰を受けて

中島 由美子（看護師長）

永年勤続表彰を賜り、感謝申し上げます。
看護学校を卒業し国立肥前療養所に就職した
当時は、これほど長く看護師として勤務する
とは思っていませんでした。縁あって、看
護教員として看護学校に勤務させていただ
きまして、これまで多くの経験をさせていただ
きました。今、私がこうしてあるのもこれま
で出会った様々な方のご支援があったからだ
と思っています。日々の感謝を持ち、今後も
頑張っていきたいと思っています。

20年表彰

永年勤続表彰を受けて

梅木 祐（主任臨床工学技士）

このたびは20年の永年勤続表彰をいただき
ありがとうございます。入職当時はME室も
なく、透析室も食堂の片隅に3床しかありま
せんでした。MEスタッフも4名になり、透
析室も10床へと大きくなりました。ここまで
これたのも上司や先輩、同僚に恵まれ、多く
のご指導をいただいたおかげだと思っています。
本当に感謝の気持ちでいっぱいです。こ
れからも病院に貢献できるよう日々努力して
いきますので、今後ともご指導よろしくお願
いいたします。

永年勤続表彰を受けて

佐藤 美由紀（看護師）

このたびは永年勤続を表彰していただきありがとうございます。今日まで働いて来られましたのも上司や先輩方、そして同僚、周りの皆様のおかげであると深く感謝しております。今後も病院の発展に貢献できるよう努力して参りますのでご指導、ご鞭撻のほど、よろしく願い申し上げます。

20年表彰

永年勤続表彰を受けて

宇都宮 亜友美（看護師）

この度は永年勤続表彰をいただき誠にありがとうございます。新卒で、当院へ就職し、あっという間に20年もの月日が過ぎました。この20年を振り返ると、沢山の方々との出会いがありました。今までこうして働き続けることができたのも、支えてくれた先輩方や同僚の皆様方のおかげだと思います。心から感謝します。これからも、日々の学びを大切に、さらに看護師として成長できるよう努力していきたいと思います。これからも、変わらぬご指導のほど宜しく願いいたします。

永年勤続表彰を受けて

佐々木 香（看護師）

このたびは永年勤続表彰をいただきありがとうございます。他県での就職後、大分へ戻り当院に就職し20年が経過しました。当院での就職で様々なことを学ばせていただき成長できたのも多くの方の支えがあったのだと感謝しています。これからも日々努力を続け働いていきたいと思っています。

永年勤続表彰を受賞して

佐藤 里徳子（看護師）

この度は、永年勤続にて表彰していただき、誠にありがとうございます。大分中央看護学校卒業後、大分医療センターへ就職し20年が経過しました。ここまで働いてこれたのは、たくさんの素敵な先輩方、上司や同僚の支えがあったからだと心から感謝しています。消化器内視鏡技師の資格取得は看護師人生の大きな強みとなり、日々勉強しながら働けることに感謝しています。大分医療センターの発展のために力になれるよう日々努力していきたいと思っています。

永年勤続表彰を受けて

廣瀬 真美（看護師）

この度、20年の永年勤続の表彰をしていただきありがとうございます。私は、当院で生まれました。学校を卒業後生まれた場所に就職しようと決意し、それから20年。いろんなことを経験し、時には挫けそうになったこともありましたが、未熟な私がここまで続けてこられたのは、多くの人に出会い、たくさんの支えがあったからだと思います。これからも当院で精一杯、勤めていきますので、今後ともご指導よろしくお願い致します。

令和7年度

大分医療センター・大分東医師会 合同臨床研究会

令和7年9月25日大分医療センター・大分東医師会合同臨床研究会がトキハ会館で開催されました。

今年度は、大分市消防局救急救命課：廣瀬暢俊先生より「大分市消防局の現状と今後の取り組み」について講演がありました。日勤救急隊発足、エピペン実証事業、マイナ救急実証事業、DX事業の実証事業について報告があり、一つ一つがとても興味深く参加者から多くの質問が寄せられていました。また、大分医療センター呼吸器内科部長：横山敦先生より「現代の肺炎治療～成人肺炎ガイドライン2024から～」の講義がありました。これまでの肺ガイドラインとの相違点・変更点について説明がありました。肺炎診療には、患者背景のアセスメントが重要であることや、抗菌薬選択の考え方を学ぶことができました。

研修会終了後の懇親会では、ご来場頂いた地域の先生方やMSW、看護師、消防の皆様と情報交換を行い、大盛況のうちに幕を閉じました。今後とも、地域医療機関との連携強化を継続してまいります。

地域医療連携係長 丸小野 まゆみ



RELAY FOR LIFE JAPAN

リレー・フォー・
ライフジャパン
大分2025に
参加して 10/25sat-26sun



リレー・フォー・ライフとは、がんと闘う方々の勇気を称え、がん患者・ご家族・ご友人・支援者と共に交代で夜通し歩き続けることで、一丸となってがんと闘う連帯感を育み、がんで悩むことのない社会の実現のために募金活動を行うチャリティイベントです。

当院は17回目の参加となり、職員48名と職員の家族が参加しました。途中、雨が降る中のリレーウォー

たくさんのスタッフが
参加しました♪

クとなる場面もありましたが、タスキをつなぐことができました。チームテント企画では、がん患者さん・ご家族・支援者の様々な思いを川柳にのせた「がん川柳」の作品展や川柳集の配布を行いました。がん川柳は心のケアやがん啓発につなげることが出来ると大変好評で、多くの参加者に足を止めて頂きました。

このたびご参加・ご協力いただいた全職員の皆様へ、チームを代表してお礼申し上げます。そして、これからも患者さん・ご家族のために活動を続けていきますので、よろしくお願い致します。

緩和ケアチーム専従看護師 佐藤 晶子

健康フェア

2025

大分医療センター 健康フェア



今回開催した大分医療センター健康フェアは、前回は大きく上回る盛況となり、来場者数は約3倍弱でした。

当日は予想以上に多くの方々にご来場いただきましたが、学生ボランティアの皆さんの力強いサポートにより、スムーズな運営を実現することができました。ご協力いただいた学生の皆様（大分県立看護科学大学、日本文理大学、別府青山看護学校）に心より感謝申し上げます。また、臼杵市のゆるキャラほっとさんも参加いただき会場を賑わせていただきました。

会場では、大在地域包括支援センターの方とコラボさせていただいたフレイル予防相談をはじめ、午前中はプラスバンドの演奏、こどもダンスチームの演舞、うみたまご飼育員さんからのセイウチやイルカのお話、午後からは当院医師による健康講座2講座と充実したものとなり、来院者の皆様から高い評価をいただきました。

人気のキッチンカーもあり活気あふれる会場の様子は、当院の地域における役割を再認識するものとなりました。次回もさらに充実した内容で皆様をお迎えできるよう準備を進めてまいります。

管理課長

フレイル予防啓発ブース 大盛況！

令和7年11月15日（土）の大分医療センター健康フェアにて、フレイル予防のブースを開催しました。今年は大在地域包括支援センターさんより提案があり、フレイル予防の啓発を目的としたブースを共同開催することとなりました。大在地域包括支援センターさんのご紹介により明治安田生命さんにもご協力いただけることになり、毎年当院放射線科と検査科がブース開催している骨密度検査に加えて、握力測定、ベジチェック、血管年齢と広範囲の検査ができる体制を整えることができました。院内スタッフも受付に看護師、MSW、骨密度検査に放射線技師、臨床検査技師、測定結果評価に研修医の先生とPT、OTのリハビリスタッフと万全の体制を整えることができました。それに加えて大在地域包括支援センターさんから3名のスタッフ参加、明治安田生命さんからは測定機器の貸し

出しとスタッフの参加と多大なるご協力をいただきました。参加人数は当初予定していた予想を大きく超え、193名の方の利用があり、大盛況となりました。反省点としては、計画時の参加人数の予想を大きく超えてしまったことで、計測に待ち時間が生じてしまい、希望の方々にご迷惑をおかけすることとなり申し訳ありませんでした。来年は計測機械を増やして待ち時間解消を計画しています。例年はある程度年齢層が高い方の参加が多いブースでしたが、今回は比較的若い層の方の参加が多く、血管年齢や骨密度などは若い方も気にされていることがわかりました。大分医療センター健康フェアの名物ブースとなれるよう来年も継続開催ができるよう計画していきます。ご協力いただいた、大在地域包括支援センターさん、明治安田生命さん、院内スタッフの皆様ありがとうございました。



キッチンカー企画も大成功！

今回は例年よりキッチンカーの参加数を増やそうと早期から誘致を行いました。総合支援センター全員で選定、依頼を行い結果として病院売店を含む7件のキッチンカーに参加していただきました。ハサマハウスピィ、おしゃべりなスプーン、みゅあクレープ、あげパン SECOND、森のくれよん、亀吉と人気のキッチンカーに参加いただき、大盛況であったと思います。すべ

てのキッチンカーで売り切れとなり、中にはキッチンカーの利用のみで来場いただいた方もいたとのことでした。ご満悦いただけたようで嬉しく思っています。また、例年は行列に並ぶことができず、購入が難しかった健康フェア運営スタッフと当日勤務の病院スタッフ向けにキッチンカーのお弁当の事前予約も行いました。予想を大きく超える予約があり職員の皆さんにも楽しんでいただけたと思います。今回は初

の試みが多く、スタッフ配置にも無理があり、当日たくさんのボランティアの方々にも手伝っていただき、何とか無事終えることができました。来院の方々にも、院内スタッフにも好評であったため来年も頑張って開催していきたいです。ご協力いただいた方々、ありがとうございました。

来年も頑張ります。



医療社会事業専門員 村上 英恵

呼吸器内科

Respiratory
Medicine

呼吸器内科部長
横山 敦



大分医療センター 呼吸器内科の2024年度実績は以下のとおりです。

外 来 患者数	延べ患者数	6,171人
	うち新患者	654人
	1日平均	25.4人
入 院 患者数	在院患者延べ数	12,004人
	新規入院患者数	638人
1日平均在院患者数		32.9人
気管支鏡検査件数		49件

大分医療センター呼吸器内科は2025年7月からは私、横山敦と後藤昭彦医師、石川健太郎医師、平川太星医師の4人体制で診療を行っております。呼吸器内科の対象疾患は感染症、悪性腫瘍、間質性肺炎、慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息など多岐にわたります。病名が同じでも患者さんによって治療が全く異なることも多く、それぞれの患者さんに最新の治療を提供できるように日々努力しております。ただ、2024年度か

ら当院に呼吸器外科常勤医がいなくなってしまったことから、手術適応のある肺癌患者さんに関しては、大分赤十字病院、大分県立病院、大分大学医学部附属病院などに紹介を行っております。大分市東部地区在住の患者さんが主ですが、時には津久見市や佐伯市といった遠方からも患者さんを受け入れております。

外来診療は平日午前中に予約制で行っております。新患担当と再来担当を分けておりますので比較的スムーズに診療が行えていますが、紹介患者さんが多い場合や、緊急に処置を要するような患者さんが来院することもあるので、時にはお待たせすることもあるかと思います。その際はご容赦ください。

入院加療が必要となった患者さんについては、適切な治療を行った上で早期に退院ができるように調整を行ってまいります。最近では合併症を多く抱えた患者さんも珍しくないため、院内の他診療科と連携して加療を行うことも多いです。

息が苦しい、咳が続くなどの症状がある方は、ぜひ呼吸器内科へ受診をお願いします。

婦人科

Gynecology

婦人科部長
佐藤 初美



大分医療センター婦人科を紹介いたします。2025年10月より、大分大学産科婦人科学講座から派遣の佐藤と梶原由衣医師との常勤医2名体制です。午前の外来診療は週3回佐藤が、週2回梶原が担当します。週1回木曜日午後は女性ヘルスケア専門医である岡本真実子医師が担当します。

当科の診療内容は、**一般婦人科、不妊検査、人工授精までの不妊治療**です。

外来診療では、若年者の月経に関する症状、妊娠前のプレコンセプションケア、不妊、月経困難症、更年期症状、閉経後の不正性器出血、子宮脱など、様々な症状でお困りの患者様に寄り添い、診療を行います。

特に2022年4月から保険適応となりました不妊治療に関しては、近年受診が増加しております。当院では一般不妊治療の範疇の検査を行っており、精液検査、子宮鏡検査、子宮卵管造影など、クリニック様からご依頼をいただいております。また、他院と連携しながら、タイミング療法の指導や人工授精を行っております。



子宮卵管造影

婦人科領域に関しましては、更年期症状や閉経後の不正性器出血での受診も増加しております。また、卵巣腫瘍や婦人科悪性腫瘍は自覚症状に乏しく、他科受診時に偶発的に見つかることも多い疾患です。婦人科領域で何か気になる所見、症状の訴え等あればぜひご紹介いただければと思います。

手術に関しましては、骨盤臓器脱に対する腔式子宮全摘術や、子宮頸部病変に対する子宮頸部円錐切除術、不妊の原因となる子宮粘膜下筋腫や子宮内膜ポリープに対する子宮鏡手術などの経腔的な手術を積極的に行っております。また、近年婦人科領域でも、腹腔鏡手術が増加しております。当科では、悪性腫瘍は基本的に大学病院へ紹介とさせていただいておりますが、良性疾患につきましては大学病院の応援もいただいて当院での腹腔鏡手術の適応症例も増えています。

救急疾患に関しましては、緊急手術に対応できない点は課題がありますが、まずは迅速な診断と病診連携での適切な対応を行ってまいります。今後とも何卒よろしくお願いいたします。



検査用子宮鏡

うるる女性クリニック

所 在 地	〒870-0241 大分県大分市庄境4-10
TEL/FAX	097-529-8177
診 療 科 目	婦人科
病 床 数	0床
診 療 時 間	月～水・金・土 9:00～12:30、14:00～17:00
休 診 日	木曜日、日曜日、祝日



院長 岡田 さおり



この度大分医療センターを退職し、うるる女性クリニックを開業いたしました。

医療センター勤務時代は紹介状がないと受診できないことを心苦しく思っていました。重症になって初めて紹介されてくる患者様を数多く見てきましたので、もっと気軽に受診できるクリニックをと思い開業しました。

人生100年時代 生涯現役を目指しています。

“女性医学は予防医学”を理念とし、若い世代からの婦人科受診、未病からの介入、健康寿命を伸ばすためのサポートができればと思います。





消 防 訓 練

Emergency Drill

このたび、消防署の立ち合いのもと夜間想定の消防訓練を実施しました。火災などの緊急事態はいつ何時に発生するかわかりません。特に夜間は、日勤帯と比べて対応できる職員が限られるため、今回の訓練では「限られた人員でいかに安全に避難誘導を行うか」を主題とし、水平避難を中心に訓練を行いました。今回の訓練で得た反省点と消防署の方からの講評を活かし、今後も職員一丸となって防災意識を高めてまいります。 庶務係長



人事異動

退職・転出等

発令事項	発令日	職 名	氏 名	備 考	発令事項	発令日	職 名	氏 名	備 考
退職	R7. 6. 2	理学療法士	宮本 奏子		退職	R7. 8. 31	看護師	小手川真緒	
退職	R7. 6. 30	呼吸器内科部長	大谷 哲史		退職	R7. 8. 31	看護師	江口 久美	
退職	R7. 6. 30	看護師	森崎わかな		退職	R7. 8. 31	事務助手	滝口 貴博	
退職	R7. 6. 30	看護師	半澤 麗奈		配置換	R7. 9. 3	看護師	嶋山 直佳	熊本再春医療センター
退職	R7. 6. 30	一般職員	古長 紗季		退職	R7. 9. 30	事務助手	三浦 久	
退職	R7. 6. 30	看護師	西田 淑稀		配置換	R7. 10. 1	給与係長	江良 真弥	鹿児島医療センター
退職	R7. 7. 18	業務技術員	佐々木政智		退職	R7.11. 30	看護師	脇坂 束紗	
退職	R7. 7. 31	看護師	高橋 美有		退職	R7.12. 31	看護師	田中 志歩	
退職	R7. 7. 31	事務助手	緒方久美子		退職	R7.12. 31	事務助手	小野真理子	

採用・転入等

発令事項	発令日	職 名	氏 名	備 考	発令事項	発令日	職 名	氏 名	備 考
採用	R7. 5. 1	事務助手	丸田 智美		採用	R7.10. 1	婦人科部長	佐藤 初美	
採用	R7. 6. 16	事務助手	添島 祥子		採用	R7.10. 1	給与係長	大野 詩織	
採用	R7. 7. 1	診療情報管理士	西山 蒼音		採用	R7.10. 1	事務助手	古長紫希果	
採用	R7. 7. 14	事務助手	須藤 衿佳		採用	R7.10. 4	事務助手	宮崎美香代	
配置換	R7. 9. 1	診療放射線技師	渋谷ひまわり	熊本再春医療センター	採用	R7.10. 14	事務助手	下北 晴美	
採用	R7. 9. 1	非常勤看護師	御手洗菊実		採用	R7.12. 1	事務助手	堀尾 伸枝	

基本理念

「愛の心・手」で
病める人々に寄りそう医療

基本方針

- 一 職員はみな共同体の一員。お互いを尊重して思いやる。
- 一 プロ意識を高めて、チーム医療を充実させる。
- 一 地域医療支援病院および紹介受診重点医療機関として365日断らない医療を目指す。
- 一 大分県東部地域の救急・入院診療の中核を担う。
- 一 大分県がん診療連携協力病院としてがん診療を充実させる。
- 一 地域に根差した積極的な広報活動と情報発信を行う。
- 一 安定した医療を提供するため、健全経営を目指す。

大分医療センターのロゴマークについて

全体のコンセプト



Oita National Hospital (旧国立大分病院)の頭文字をロゴマークの形であらわしており、さらに「O」は病院の所在地である「大分市」及び「大在」の地名を示している。これを、海・空・太陽・緑の大地を立体的に示す色合いで表現したものである。

「緑と赤」… 昇る朝日と緑豊かな大分の地を表す。
「青」…… 大分医療センターのシンボルカラーを示し、私達医療従事者を表す。
「黒」…… 地域と大分医療センターを結ぶ架け橋を表す。



表紙の写真や大分医療センターのなつかしい写真を募集します。
ぜひ編集委員へご提供ください！

編集委員

委員長 有川 雅也

委員 今村 宏次

坂本 昌則

今井 友紀子

梅木 祐

大野 詩織

村上 英恵

外来診察医担当表

【令和7年12月1日現在】

患者のご紹介はこちら / 8:30~17:15

① ☎ **097-593-1112** / 総合支援センター
FAX 097-528-9651

①が繋がらない時・時間外は②へ

② ☎ **097-593-1111** / 病院代表

独立行政法人 国立病院機構 大分医療センター

■ 受付時間 8:30~11:00

■ 診察開始時間 8:30~

※救急患者についてはこの限りではありません

診療科 曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
糖尿病・代謝・内分泌内科	森田真智子(新患・再来)	嶋崎 貴信(新患・再来) 仲間 寛	嶋崎 貴信 仲間 寛(新患・再来)	嶋崎 貴信(新患・再来) 仲間 寛	嶋崎 貴信 仲間 寛(新患・再来)
腎臓内科			竹野 貴志(予約制)		
膠原病内科			安倍いとみ(予約制)	梅木 達仁 (予約制 第1・第3・第5週)	
消化器内科 (肝センター)	木下 竜一 山下 勉 岡本 和久	勝田泰志郎 室 豊吉 山下 勉 水内 梨絵	山田 訓也 山下 勉 相馬 颯介	相馬 颯介 山下 勉 勝田泰志郎	岡本 和久 山田 訓也 木下 竜一
循環器内科	有川 雅也 丸尾啓一郎 原田 泰輔(新患)	有川 雅也 原田 泰輔 田原 功道(新患)	田原 功道 原田 泰輔 丸尾啓一郎(新患)	田原 功道 丸尾啓一郎 有川 雅也(新患)	有川 雅也 丸尾啓一郎 田原 功道(新患)
心臓血管外科				河島 毅之 (第2・第4週 10:00~)	
呼吸器内科 (呼吸器センター)	横山 敦(新患) 後藤 昭彦	横山 敦 平川 太星(新患)	後藤 昭彦(新患) 石川健太郎	横山 敦 石川健太郎(新患)	横山 敦(新患) 後藤 昭彦
血液内科	諸鹿 柚衣 (月曜日受付 新患10:30~11:30(予約制)/再来9:00~15:30)			樋園 和仁※ (木曜日受付 新患8:30~10:00/再来8:30~11:00 診療8:30~)	
脳神経内科				日野 天佑 (新患受付~14:00) (診療時間 14:00~)	
外科	渡邊 公紀 高橋 純一	花島 章 永島翔一郎	渡邊 公紀 渡邊 淳平	高橋 純一 小林 照之	小林 照之 渡邊 淳平
呼吸器外科				高祖 英典(再診予約) (10:00~)	
整形外科	田畑 知法 福井 淳	田畑 知法 福井 淳	(手術日)	田畑 知法 福井 淳	金曜新患受付10時まで 田畑 知法 福井 淳
泌尿器科	紹介は「外来担当医」宛てでお願いします。 (新患受付)月・水・金は11:00まで、火・木は10:00まで				
	(新患受付)8:30~11:00	(新患受付)8:30~10:00	(新患受付)8:30~11:00	(新患受付)8:30~10:00	(新患受付)8:30~11:00
	奈須 伸吉 住野 泰弘 村上 幹	住野 泰弘 村上 幹 山中 直行	奈須 伸吉 住野 泰弘 村上 幹	住野 泰弘 村上 幹 大野 哲	奈須 伸吉 村上 幹 河野 香織
婦人科	佐藤 初美	佐藤 初美	梶原 由衣	佐藤 初美 岡本真実子(午後) (受付 13:00~16:00) (診療 13:00~17:00)	梶原 由衣
放射線科	牧角 健司	牧角 健司(午前) 本村 有史(放射線治療 新患午後)	牧角 健司	牧角 健司(午前) 本村 有史(午後)	牧角 健司 (第4週のみあり)
内視鏡 (胃腸センター)	勝田泰志郎 相馬 颯介 水内 梨絵	岡本 和久 木下 竜一 山田 訓也	勝田泰志郎 木下 竜一	岡本 和久 山田 訓也 水内 梨絵	山下 勉 相馬 颯介 水内 梨絵
専門診療科の判断が 困難な内科系疾患(午前)	総合診療内科 血液内科	呼吸器内科	循環器内科	血液内科	消化器内科



地域医療支援病院 日本医療機能評価機構 認定病院

独立行政法人
国立病院機構

大分医療センター

<https://oita.hosp.go.jp>



〒870-0263 大分市横田2丁目11番45号 TEL097-593-1111 FAX097-593-3106 / 総合支援センター直通 TEL097-593-1112 FAX097-528-9651